

みやまの風



両方の園にアクセスしていただき閲覧数のアップ、情報の共有に、ご協力ください。



令和6年5月1日(水)発行 園長 津田 将真

寄 松田

写真のカラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

やまぶきの季節

町のいたる所にやまぶきの花が咲き始め、鮮やかな黄色が目を楽しませてくれる季節になりました。寄へ向かう道沿いにも、いたる所にやまぶきが咲き乱れ、通る人の心を明るく照らしてくれているようです。



今からちょうど10年前、寄小学校に教頭として勤務させていただきました。その頃は学校便りの裏面に教頭の担当するコーナーがあり、その表題が「やまぶき」であったのを、ふと思い出しました。真っすぐに伸びようとする子どもたちと、それを支える地域の人々のあたたかさをいろいろなエピソードにのせて書かせていただいたことを覚えています。そして、その頃と変わらない子どもたちと地域のあたたかさが、今も確かにここにあります。

園では今、武器作りがブームです。様々な素材を活用して、鉄砲や剣、爆弾などを製作しています。(ちょっと、ギョッとする表現ですね…。もちろん本物ではありません…)

一人の活動がすぐ周りに響き、良さを共有しながら発展していくことが、少人数の大きなアドバンテージでもあります。先日は、この武器に「魔法の杖」が加わりました。園舎の中には、様々な魔法の言葉と子どもたちの笑顔があふれ出しました。そしてそれは、自然と「ハリーポッターごっこ」につながりました。私も我慢ができなくなって、物語の中の悪者になり、ハリーポッターを追いかけ始めました。



たくさんの魔法の言葉が飛び交いましたが、私にはどういう意味なのか、それは本当に「ハリーポッター」の中で使われていたのかはわかりませんでした。ただ、ふたつの言葉ははっきりとわかりました。



「ちちんぷいのぷい！」

(これは追いかけてくる園長をやっつける魔法の言葉)

「ぴぴんぽんのぽん！」

(意味は特にないが、園長が近づいてきたときにぶつける言葉)

みんなで大笑いをしながら、楽しい時間を過ごしました。地域の人が通りかかると、にこにこしながらやさしい視線を送ってくださいます。年少組の3人もすっかり園に慣れたようで、伸び伸びと自己表現ができるようになりました。



やまぶきの季節は、生きとし生けるものが輝き出す季節です。木々の輝きや様々な生き物の営みに目を向け、寄り添い、じっくりと考え相談しながら、心の栄養をたっぷり蓄える季節にしていきたいです。

